

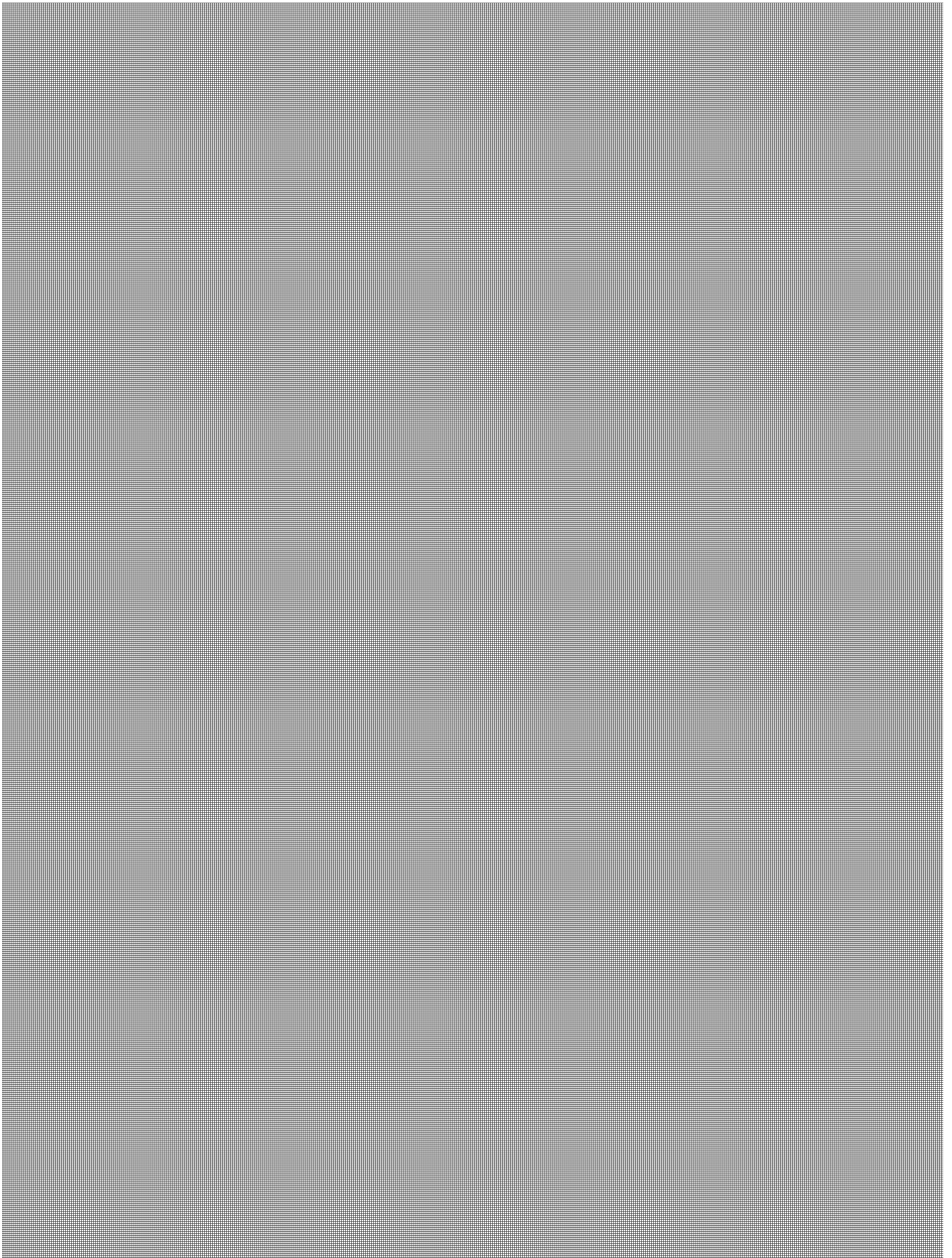
論文課題

令和4年9月実施 職員採用選考

指示があるまで開いてはいけません。

注意

- 1 問題は2題あります。2題のうちから1題を選択して解答してください。
- 2 字数は800字以上1,200字程度です。なお、論文字数が800字に満たない場合は採点されないことがあります。
- 3 解答時間は1時間30分です。
- 4 メモを要する場合は、この冊子の余白を利用してください。解答用紙は絶対に使ってはいけません。
- 5 解答にあたっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
- 6 この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。



【問題 1】

下記の事例と資料を踏まえ、本児のケースに対するあなたの援助方針を述べてください。

(800 字以上 1,200 字程度)

【事例】

あなたは、東京都福祉保健局 X 児童相談所に児童福祉司として配属されました。

あなたの担当する地区に居住する Y 家庭について、警察から児童相談所に以下の内容の通告がありました。

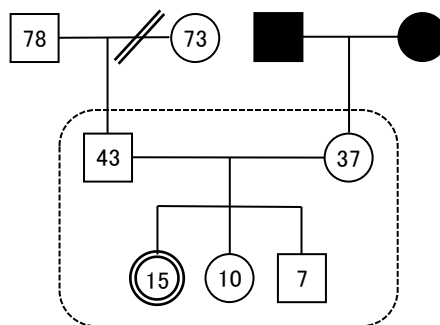
今朝、登校前に本児がコミック雑誌を読んでいたことを父が注意。夜、父が仕事から戻った際にも、本児はコミック雑誌を読んでいて、また注意されると思いソファの下に隠した。それを見た父が怒り、本児を廊下に正座させた。いつまでも正座の強をやめない父に母が注意をしたが、父が受け入れなかったため、母が 110 番通報。警察が確認したところ、父から本児への体罰は日常的に行われており、また、父母の関係も悪く、家庭内別居の状態、というものでした。

本児は父と暮らすことを拒否したため、一時保護となりました。

その後、一時保護期間（30 日経過）の間に、学校への聞き取り調査、本児への面接、保護者への面接、親子面会を行っています。

明日、所内の会議で、あなたが援助方針を提案することになっています。

資料 1



- ・ 本児：中学 3 年生、自閉スペクトラム症
- ・ 父：会社員、平日の帰宅は深夜、難関大学卒で子供たちに対する要求レベルも高い
- ・ 母：専業主婦、短大時代に父と結婚し、就労の経験はない
- ・ 妹：小学 4 年生、気が利く優等生タイプで好奇心旺盛、何をやらせても器用にこなす
- ・ 弟：小学 1 年生、素直で穏やかな性格、第二子と仲が良い

資料2

診断種別	本児の診断結果（一時保護 30 日経過）
社会診断	<ul style="list-style-type: none"> ・父は子供たちに一律に勉強や手伝い等を求め、時には暴力暴言で対処、母は父を止めきれず、状況理解の苦手な本児が一番叱責を受けていた。 ・父母は、心理フィードバックや医療相談を経て、本児の特性について一定程度理解。 ・父は暴言暴力を反省し、子供に関することは父母で話し合っていきたいと述べる。
心理診断	<ul style="list-style-type: none"> ・父の暴力的な叱責に対し強い嫌悪感があったが、一時保護後、今まで抱えてきた思いを表出し、父母が変容していくのを少しずつ受け止めている。 ・今後も社会不適応感が続いていくのは想定されるため、家族や学校の根気強く適切なサポートは必須である。
医学診断	<ul style="list-style-type: none"> ・注意欠如多動症、自閉スペクトラム症（臨床レベル以下）。 ・対人関係や不注意については本人も悩んでいて、自分の特性を理解した生活を助言。
行動診断	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつのことに熱中し過ぎて周囲の状況が読めず時間に遅れる、順序だての必要な準備が苦手であるなど、注意散漫での取り間違いを繰り返していた。 ・場にそぐわない言動が多かったが、所内生活で改善が少し見られるようになってきた。

【参考】

援助方針の種類

助言指導	保護者との面接や家庭訪問等を通じて1～数回の助言により虐待の状況が改善されたケースを終了する場合 など
児童福祉司指導	施設入所等による親子分離は不要であるが、通所や家庭訪問を通じて親子関係等の改善を図るなど、行政決定により虐待に対する指導が必要な場合 など
里親委託・児童福祉施設入所	一定期間、親子を分離した生活をしなければ、子供の安全・安心な生活が保障されない場合 など

【問題 2】

下記の事例と資料を踏まえ、本児の家庭復帰に対するあなたの考えを述べてください。
(800 字以上 1,200 字程度)

【事例】

あなたは、東京都福祉保健局 X 施設の生活寮に、児童の生活支援をする職員として配属されました。

あなたが担当する本児は、現在中学 3 年生です。本児へ卒業後の意向を確認したところ、『(中学 2 年の 10 月に) 入所して 1 年近くが経った。』『家に帰って高校に行きたい。アルバイトもしたい。』と述べていました。

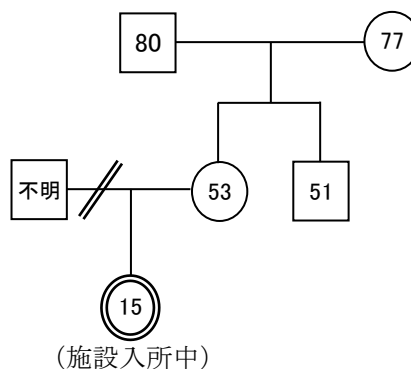
本児は、入所する前は企業経営者の母親との 2 人暮らしでした。中学 1 年生の 3 学期から不登校になり、SNS で知り合った仲間と、家出をした子供たちが集まる繁華街に出入りするようになりました。やがて、知り合った男性宅に外泊して家出をしたため、母親は行方不明者届を警察に提出して保護してもらいました。しかし、それが続き、母親が身柄の引き取りを拒否したため、児童相談所に一時保護をされて、施設に入所しました。

施設入所後に「愛着障害」と診断され、クリニックでカウンセリングを受けています。母親は経済的には安定していますが仕事が最優先のため、退所後の本児の生活については『家に戻ってきても良いが、全寮制の高校か九州の祖父母宅からの通学も選択肢の一つと考えている。』と述べています。

職員間では本児のニーズに添った支援をしたいと考える一方で、母親が子育てに積極的でないことから、全寮制の高校か九州の祖父母宅からの通学、あるいは児童養護施設に移して支援するなど、意見が分かれています。

明日、施設内の会議で、あなたが本児の意向である家庭復帰に向けた今後の支援について説明することになっています。

資料 1



- ・ 本児：中学 3 年生。主訴は家出。中学 1 年の 3 学期から不登校。「愛着障害」の診断。児童精神科で定期的にカウンセリングを受けている。
- ・ 母：53 歳、企業経営者（2 年前に起業）。出身は九州地方。両親は地元で健在。都内在住の 2 歳年下の弟とは折り合いが良くない。
- ・ 父：不明（母は「選択的シングルマザー」を自称）

資料2

主な項目	本児の自立支援計画の抜粋（中学3年生前期）
自立支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送ることにより心身の健康を取り戻す。 ・母親との関係を修復し家庭復帰を目指す。 ・基礎学力を身につけて高校に進学する。 <p style="text-align: right;">（入所当初）</p>
入所理由	<ul style="list-style-type: none"> ・家出
児童の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・家に帰って進学したい。 ・アルバイトをしたい。 <p style="text-align: right;">（中学3年5月）</p>
保護者の意向	<ul style="list-style-type: none"> ・中学卒業後は、本児を引き取ることは可能だが、全寮制の高校か九州の祖父母のところに行くことも選択肢の一つと考えたい。 ・進路に関しては少しでも偏差値の高い高校に行ってほしい。 ・家出は二度としないほしい。 <p style="text-align: right;">（中学3年5月）</p>
児童相談所の意見	<p>【短期的目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設生活に慣れる。 ・施設職員との信頼関係を築くとともに、入所主訴である家出のリスクに気づく。 <p style="text-align: right;">（入所当初）</p> <p>【中・長期的目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子交流を進めて関係性を再構築し家庭復帰を目指す。また祖父母との関りについても検討していく。 ・学力を向上させ親子で話し合っって選択した高校に進学する。 ・性感染症等のリスクについて理解させるとともに、施設心理士と協力して性教育を進めていく。 <p style="text-align: right;">（入所当初）</p>
関係機関の意見	<p>【前籍中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内では特に問題はなく、もともとの学習能力は高いため、学力に見合った高校を選択すれば登校自体は継続できると考える。 ・母親は本児への関心が薄いため、本児に対する何らかのサポートが必要と思う。 <p style="text-align: right;">（中学3年6月）</p> <p>【児童精神科クリニック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放っておかれたことによる悲しみや怒りを抑圧し、母親を自分の将来像として理想化している。アルバイトをしたいという気持ちは母親への同一視と考えられる。 ・今は生活の枠組みによって守られているので問題ないが、家に帰れば、以前のように、家出をした子供たちが集まる繁華街に出入りするリスクは高いと見られる。 <p style="text-align: right;">（中学3年8月）</p>

